

公立高校学科紹介 その3 「農業に関する学科」

大阪府にある農業に関する学科がある公立高校は、堺市美原区にある農芸高校と、池田市にある園芸高校の2つです。

どちらの学校も専門学科としての知識を学びます。卒業後の進路は、園芸・農業系、食品加工系などに就職する人や農業に関する学科のある大学や専門学校などに進学する人がいます。

園芸高校

大阪府の公立高校で一番広く、約11万m²（甲子園球場約2.8個分相当）の敷地を有しています。フラワーファクトリ科、環境緑化科、バイオサイエンス科の3つの学科があり、それぞれ特徴ある実習をしています。広い屋外で花の手入れをしたり、野菜を育てたり、庭を造ったり、微生物を培養したり、食品を製造したりします。

フラワーファクトリ科とは・・・

草花、野菜や果樹の栽培管理、バイオテクノロジーを利用した栽培技術、生産物の流通や草花の利用技術、食の安全や環境について学習します。それぞれの分野をより深く学習するために草花デザインコース、都市園芸コースの2コース制を取り、これからの食料生産や都市園芸に役立つ人材を育成します。



環境緑化科とは・・・

快適な生活環境を創造するための緑化に関する知識と技術を習得するとともに、庭園や公園などの公共緑地の計画、設計、施工や管理などを専門的に学習し、造園や環境に関する分野において活躍できる人材を育成します。また、造園に関する様々な資格取得に取り組んでいます。環境コースと緑化コースに分かれ、学習を深めています。



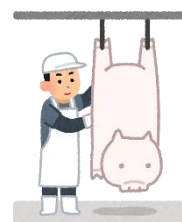
バイオサイエンス科とは・・・

バイオテクノロジーは、人類や地球の未来に無限の可能性を秘めています。バイオサイエンス科ではバイオテクノロジーや食品の栄養・分析・加工などについて基礎から最先端の知識や技術を学びます。製薬会社や食品関連の企業への就職及び大学への進学を目標にサポートもおこなっています。食品科学コース・生命科学コースに分かれ、学習を深めています。



農芸高校

ハイテク農芸科、食品加工科、資源動物科といった、いずれも特色のある3つの農業学科を設置し、約9万m²の広大な敷地を有しています。生徒全員が、各学科の農業クラブに所属し、放課後や土曜日、夏休みや春休みなどの休業日を利用し、授業の一環として校内や校外で実験・実習や研究活動などを行っています。



自らが責任を持って、植物の栽培や動物の飼育、食品の製造等のプロジェクトに取り組みます。なかには、愛情をもって育てあげた動物を屠殺（とさつ）し、食に供することもあります。

これらのことを通じ、命と自然の恩恵に感謝できる豊かな情操を養うとともに、学ぶこと・働くことの大切さを身に付けていきます。

ハイテク農芸科とは・・・

野菜、果物、草花、デザインプラントなど園芸植物の栽培実習、研究実験を通して、実践的な専門学習をします。今までの農業形態を改革した植物生産工場等のハイテクノロジー施設で植物バイオテクノロジーやコンピューター制御などの先端技術産業技術を学習し新しい時代のニーズに対応できる知識・技能・ハートをもった農業自営者や関連産業技術者として、社会で活躍できる人材を育成します。



果樹、野菜、作物、草花・造園の各専攻（農業クラブ）に分かれ、学習を深めています。

食品加工科とは・・・

食分野で新たなビジネスをプロデュースできる人材、活躍できる人材の育成を目標としています。食品産業、食品製造のスペシャリストになりたい人、将来パティシエやパン屋さんになりたい人、農学食品系の大学に進んで管理栄養士をめざす人、短大・専門学校に進んで調理師や製菓衛生師になりたい人を育成します。



園芸加工、微生物利用、食品化学、製菓食品、食品流通の各専攻（農業クラブ）に分かれ、学習を深めています。

資源動物科とは・・・

家畜の飼育・繁殖に関する基礎、畜産物の製造加工や情報処理、生命と環境などの広い領域にわたっての専門知識と技術を学習し、畜産経営者・関連産業技術者を育成します。動物をほんとうに愛し、慈しむために、畜産領域に止まらず、広い視野に立って、動物のもつ資源の有効利用をめざす学習をしています。また、先端技術に偏るのではなく、自然界の秩序を重視する「農と食」から離れず、畜産経営農家とのつながりも大切にしながら学習を進めています。

生産グループ（酪農専攻、養豚専攻）、活用グループ（総合環境専攻、ふれあい動物専攻）の農業クラブに分かれ、学習を深めています。

